

# 静岡県南海トラフ地震時等の 人的受援に係る取組

令和3年3月15日  
静岡県危機政策課

# 本日の内容

- ① 本県から他県被災地への短期派遣実績
- ② 南海トラフ地震における静岡県広域受援計画
- ③ 災害マネジメント総括支援員等への積極的登録
- ④ 罹災証明発行に係る県内市町との連携



# ① 本県から他県被災地への短期派遣実績

## 東日本大震災

平成22・23年度  
683人(県369人、市町314人)

## 熊本地震

平成28年度  
237人(県34人、市町203人)

## 西日本豪雨

平成30年度  
233人(県66人、市町167人)



災害マネジメント総括支援員の派遣



災害公営住宅の完成点検(岩手県大槌町)

## 令和元年房総半島台風

令和元年度  
24人(県9人、市町15人)



千葉県南房総市に派遣された職員達

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに





### ③ 災害マネジメント総括支援員等への積極的登録

他県からの応援職員を円滑に受け入れるためには、  
応急対策職員派遣制度への理解が不可欠

そこで

危機管理部職員を中心に、管理職や被災地派遣経験のある希望者へ  
「災害マネジメント総括支援員等研修」の積極的受講を働きかけ

その結果

本県職員からの登録者数(令和3年2月時点)  
災害マネジメント総括支援員 13名  
災害マネジメント支援員 48名  
⇒令和2年10月時点では全国最多  
⇒応急対策職員派遣制度への理解促進に繋がった



## ④ 罹災証明発行に係る県内市町との連携

- ・平成20年度から、市町職員向けに「家屋被害認定研修」を開催
- ・令和元年度からは、外部講師による**実習**を取り入れ内容を拡充

構成	時間	内容
基礎編	5時間	熊本地震被災自治体の職員による講話 住家被害認定調査の概要
応用編	6時間	模型やCG画像を用いた机上の演習
実地編	5.5時間	模擬住家(パーティションにイラストシートを貼ったもの)を用いた実測を伴う実習



実地編の様子

研修受講者の人材登録数  
計119名



名簿を市町人事課と共有し、  
災害時の優先的な派遣を依頼

